

「産後ケア事業に携わる助産師のための研修プログラムの実施と評価」

研究にご協力いただける方を募集しています

研究の概要

産後ケア事業に携わる助産師のための研修プログラムを企画いたしました。本研修プログラムは、**子育て世代包括支援事業の理念を汲んだ産後ケア**が実践できる助産師の育成を目的としております。このことは、さらには産後ケアを受ける女性にとっても「産後ケア」の質の保証につながると考えております。

なお、本研修プログラムは、現在開発途中であり、効果が検証されているものではありません。

対象となる方

産後ケア事業において産後ケアを実践されている助産師の方、産後ケア実践歴は問いません。6～7名程度を募集しております。

プログラム開催日と開催場所

開催日：2022年5月14日（土）10～16時

プログラム実施場所：東邦大学看護学部（最寄り駅：JR蒲田駅、京急梅屋敷駅）

参加いただく内容の概要

- プログラムの参加（6時間）
 - 子育て世代包括支援事業の理念と産後ケア事業の意義について（講義）
 - 子育て世代包括支援事業の理念に基づいた産後ケア事業における産後ケアの実践（講義）
 - 子育て世代包括支援事業の理念に基づいた母子と家族の支援について考える（講義とグループワーク）※知己が参加している可能性や個人情報を取り扱うことがあります
- プログラム開始前後の調査票への記入（各10～15分程度：プログラム時間内）
- プログラム終了後1か月時点でのインタビュー（60分程度：対面またはWeb会議システム）

謝礼

上記👉参加いただく内容の概要 ⇒1と2 終了時に3000円分のQuoカード
⇒3 終了時に3000円分のQuoカード
また、研修プログラムの参加に伴い必要となる交通費は実費をお支払いします

以上の内容について、ご興味・ご関心のある方は、下記の連絡先まで連絡をお願いいたします。電話・メールいずれでも大丈夫です。

参加申し込みの締め切りは、2022年5月1日とさせていただきます。

<研究者連絡先>

研究者：原田 慶子（ハラダ チカコ） 東邦大学大学院看護学研究科博士後期課程3年

指導教授：福島 富士子（フクシマ フジコ） 東邦大学看護学部教授

連絡先：E-MAIL: chikako.harada@hs.toho-u.ac.jp

住所：東京都大田区大森西4-1-6-20 母性看護学研究室